

## 令和元年度第2回印西市行政改革推進委員会会議録

- 1 開催日時 令和2年3月25日(水)  
午後3時から午後4時30分まで
- 2 開催場所 印西市役所 24、25会議室
- 3 出席者 川邊孝会長、大森哲委員、木村誠委員、坂口三郎委員、丹羽誠委員、
- 4 欠席者 鈴木和男委員、森美佳委員、山口萬紀子委員
- 5 事務局 岡本総務課長、石井(秀)行革推進係長、小名木(繁)主査、石井(康)主査
- 6 傍聴者 5名
- 7 議題 第6次印西市行政改革大綱の策定に向けた基本的な考え方について

進行 時間となりましたので始めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。はじめに、本日は新型コロナウイルス感染予防対策といたしましてマスクの着用をお願いするとともに、席の間隔を通常よりあけております。また、換気のため、窓を開けたままとさせていただきますので、よろしくお願いたします。次に、配付資料の確認をさせていただきます。本日お配りいたしました「会議次第」「第6次印西市行政改革大綱の策定に向けた基本的な考え方について(案)」以上となります。不足資料はございませんでしょうか。

(不足なし)

次に、印西市市民参加推進条例に基づき、市の会議は原則公開としていることから傍聴席を設置しております。なお、本日は5名の方から傍聴の申し出がございましたのでご了承ください。また、会議内容については、議事録を作成し公表することとなっておりますので、予めご了承ください。なお、鈴木委員、森委員、山口委員におかれましては、本日所用により欠席される旨の連絡をいただいております。それでは、ただ今より次第に沿いまして、行政改革推進委員会を開催します。はじめに、川邊会長よりご挨拶をお願いいたします。

(会長挨拶)

進行 ありがとうございます。それでは早速議事に入りたいと思います。会議の議長につきましては、印西市行政改革推進委員会設置条例第5条の規定により、会長が会議の議長となっておりますので、川邊会長、よろしくお願いいたします。

議 長　それでは、条例の規定により、議長を務めます。はじめに、議事録の署名委員についてですが、今回の議事録署名委員は、木村委員と坂口委員ということですが、よろしいでしょうか。

(委員了承)

議 長　それでは、議事に入ります。議事の(1)「第6次印西市行政改革大綱の策定に向けた基本的な考え方について」事務局から説明をお願いします。

事務局　(「第6次印西市行政改革大綱の策定に向けた基本的な考え方について」説明)

議 長　それでは、議事に沿いまして意見交換をすすめていただきます。何かご意見、質問等ございますか。

委 員　第5次から第6次には基本的には動いていないということですが、並びかたとしては良いと思いますが、一つ質問ですが第5次時には効率的な行政運営の推進が入っていたと思うのですが、今回の6次では行政運営の最適化ということですが、どのような違いなのでしょう。

事務局　今までICT化については、項目立てしておらず、主に民間委託がメインでした。国の方針でもICT化について推進していくということがあります。例としてはRPAを導入等、ICT化について今後取り入れていこうという考えが業務の効率化、市民サービスの向上につながるものとして考えたところです。

委 員　今までは民間委託中心であったのが、ICT化中心に考えていくということでしょうか。

事務局　民間委託を排除するというのではなく、ICT化も含めて考えていくということでございます。

議 長　労働改革ということで、時間外時間を減らすことと、行政サービスを向上させるということは、相反する内容に感じますが民間委託にプラスアルファしてICT化としてRPA等を取り入れ、両立させるということによろしいでしょうか。

事務局　サービスの向上ということについては、市民サービスの在り方として、他市の例としては書かない窓口、システム等があります。いろいろな方法があるので今後

研究していきたいと考えております。こういったICT化についてもサービスの向上として考えております。

議 長 確定申告もネット申請していますし、窓口に来なくても申請できる等、そういった市民の利便性を考えていくことも必要であると思います。

委 員 5次と6次の違いを確認できました。

議 長 他に基本目標について1から4について、何か質問ありますでしょうか。

委 員 総合計画、基本計画との関係性について確認させていただきたい。行革の計画について推進委員会のなかでも、それぞれの項目が入っていますが、仕分けはどのように考えていますか。また、行政改革の進め方の問題ですが、担当者等を交えての会議が必要なのではないでしょうか。

事務局 進め方については、担当者等との話し合いについても、必要に応じて開催していくこととして考えております。予定としては、各担当とヒアリングしながら実施項目については、進めていきたいと考えております。公共施設について資産経営課で計画を策定しておりますが、行政改革での計画では、行政改革という目線での数値で公表していく必要があると思いますので、進行管理については引き続き行っていきたいと考えます。表し方としては、中間報告のようになるべく数値化していきたいと考えています。

議 長 数値化して公表ということについては、数値化できる内容についてはわかりやすいと考えますが、質的な部分について数値を示すのは難しいと思いますが、どのように考えていますか。

事務局 数値化については、5次大綱の中間報告のような内容で考えております。質的な部分ということでは、新しい項目についてで考えると、ICT化を進める事については、どのような成果に結び付くのか検証する段階と考えておりますので、試験的導入までの調整内容、効果等を状況報告していくということで考えております。

議 長 他にご意見ありますでしょうか。

委 員 第5次から第6次の計画なので、内容がかけ離れてもいけませんので、次期についての考え方については、この考え方でもよろしいのではないかと考えます。

議 長 他にご意見ありますでしょうか。

委 員 行政改革大綱というものはコスト削減ということに重点が置かれてしまいます。わかりやすいので削減ばかりになります。そればかりでは、暗い未来を強調するだけなのもよくないので、将来に予算をまわすというような、今の税収がある時期に将来のあるべき姿を描き、どのような課題があり、解決していくのか、将来を考えた前向きな行政改革大綱にしていきたいと思います。今が準備期間であり、必要な施策を行っていき印西市が目指す将来像の決意表明になるとよいなと思います。全体のスキームについては特に意見はありません。

議 長 収入と歳出との将来のための準備期間という従来からのスタンスは変わっていないと思いますが、急速に少子高齢化は進みますので、将来のことを見据えた行政改革大綱として考えることは必要ですね。

議 長 他に質問ありますでしょうか。  
それでは次に基本施策について4つの基本目標に沿って進めていきたいと思えます。「基本目標1 持続可能な財政運営の推進」について何かご意見ありますでしょうか。

委 員 資料3ページの基本目標①にある4つの基本施策のなかで、企業会計等の経営健全化については前回同様、下水道についてということでもよろしいでしょうか。

事務局 前は下水道事業が公営企業会計を開始するということでした。今回については他市の項目について参考にさせていただいたものではありますが、水道課と下水道課と統合することで組織の効率化につながるのではないかと考えております。現状、水道事業、下水道事業ともに指標的には赤字になっていないこの状態を継続させていくということを考えております。

委 員 昨今マスコミ等の情報によりますとゴミの広域的な施設設置や、医療、地震を広域で検討するという仕組みもあると聞いています。今後大きな災害があった場合を考えると、広域の市町村単位で施設を作っていくということも必要なのではないかと考えます。

事務局 ゴミについては、現在印西市と白井市、栄町と一緒に一部事務組合という形で行っております。今後の計画についても広域の形で検討していく形をとっております。料金については減量化や有料化も一つの考え方としては思いますが広

域で検討していくということです。

委員 推進委員会の中での検討と組合での検討との整合性が図れているのかについては気になります。また、国民健康保険事業についても取り上げていただきたいと思  
います。

事務局 ご意見として承ります。

議長 他にご意見ありますでしょうか。  
次に「基本目標 2 公共施設等の適正な管理」については、いかがでしょうか。

委員 印西市の公共施設適正配置について、資産経営課で行っていますが、行革大綱と  
の関連については、どのように考えているのでしょうか。

事務局 資産経営課では施設の適正計画について行っております。公共施設等総合管理  
計画は長期の計画となっており、その計画をアクションプランという 10 年の短期  
計画で管理をしていくものであります。進捗状況について、各課との調整、管理を  
資産経営課で行っております。こちらの行政改革の計画としては、それとは別に財  
政的な内容を公表することとして考えたものであります。その他に管財課の関係  
ですが学校用地跡地等未利用財産の有効活用についての管理も必要になると考え  
ております。

委員 資産経営課、管財課で検討し、行政改革推進委員会の項目でそれぞれとりあげて  
いくということでしょうか。

事務局 それぞれの担当課での進捗管理がありますが、資産経営課では計画についてパ  
ブリックコメント等から市民意見を取り入れております。行革推進実施計画では  
審議会からの意見を取り入れながら進めることができる計画と考えております。  
目標数値などの項目をあげ、実績を公表していくところでもあると考えます。

議長 他の委員の意見はありますか。

委員 未利用財産の有効活用の進捗管理等についての見通しは担当課に任せてもよい  
のではないかと思います。

事務局 あくまで担当課があるなかで、公表していく場として行政改革の場があるので

はないかと考えます。

委員 了解いたしました。

議長 実際の具体的数値については担当課で管理し、行政改革大綱や計画の実施項目としての報告についてという形で市民に公表するという理解でよろしいでしょうか。

続いて「基本目標3 行政運営の最適化・効率化」については何かございますでしょうか。効率的で効果的が一番よろしいこととは思いますが。

委員 非正規職員は増えてきているが、定員管理計画の中ではどうしていくのか議論していくべきだと思います。非正規職員の賃金等についての確認や管理についてどう考えますか。

事務局 これまでの非常勤職員については会計年度任用職員になりますので、賃金ではなく報酬で支払いしていきますので、今後については決算ベースで確認できるようになります。

委員 定員管理計画について正規、非正規含めての計画ですか。

事務局 再任用フルタイム職員と任期付きフルタイム職員については、定員管理計画で管理しております。それ以外の非正規職員についても、別管理してきたところではありますが、今後の必要性については人事課とも検討しながら、ご意見として承りたいと思います。

議長 他に何かございますか。

ここで質問ですが、基本目標である「質の高い行政運営の確立」ということについてですが、何をもちて質の高いという基準、ベンチマークとしてつくられているのでしょうか。

事務局 こちらの項目として考えられることとしては、例えば人的作業していたことをICT化、民間委託など実施することにより職員が単純作業以外の業務に集中して携わることができ、こういったことにより質の高い行政運営になると考えております。こちらの基本施策の内容については一つの例としてあげさせていただきました。

議 長 行政改革というと効率化ということになりますが、効果的かつ効率的ということとを両立することが必要であると思います。効率的になったが、質が落ちてしまっ  
ては良くありませんので、整理しながら効率化を進めるということが理想的であり  
ます。

議 長 最後に「基本目標4 行政サービスの向上」について何かございますでしょうか。

委 員 質の改革についてということになると思うのですが。

議 長 質の改革だけということではなく、採算だけでとらえるのではなく、市民の利便  
性の向上として、今までより使いやすくなったということ等が含まれていると考  
えます。

委 員 市民の利便性の向上としては、職員の配置を変えることで待合スペースが確保  
できることも考えられます。こういったことは利便性が向上することも考えられ  
ます。ぜひ、お願いいたします。

議 長 印西市の行政としての存在価値自体がこの項目のとおりでありますので、一番  
大切な項目であると考えます。予算を使うことだけでなく配置変えにより待合ス  
ペースの確保ができるということ等もあると思います。その他ございますでしょ  
うか。

それでは、最後に私から災害が起きた時の危機管理体制がどのようになっている  
のかについて質問させてください。危機管理というものは、国、県、市のレベル  
があり、それによって対応していると思います。昨年の大雨、台風災害など。今回  
新型コロナウイルスでの伝染病関係については、マスクがない状況に対して備  
蓄を配布するとか。災害時の情報伝達についてのネットワークが整備されている  
のでしょうか。防災無線を使った連絡がありますが、災害により市町村からの送信  
ができない状況時に、衛星から直接受信できるようなシステムをある事業者が開  
発に成功したという事例等も聞いています。そのようなことを含めてどのように  
考えられているのでしょうか。

事務局 危機管理体制といたしましては、昨年の台風については防災課が主として災害  
対策本部を設置し、県や自衛隊、消防組合等と24時間体制で市民の皆様の対応を  
させていただきました。昨今の新型コロナウイルスについても対策本部を設置し、  
マスクや消毒液等の備蓄分を保育園や幼稚園、窓口業務等に配布している状況で  
あります。

委員 危機管理体制について、基本施策の項目として挙げるのも必要でないかと思えます。

議長 市民の方々に安心安全なまちづくりという観点からは必要な項目として考えられます。

議長 その他、意見ありますでしょうか。

貴重なお意見ありがとうございます。それでは第6次印西市行政改革大綱の考え方につきましては、委員の方々の意見を踏まえ、次年度第6次行政改革大綱の策定を参考にさせていただきたいと思えます。

事務局 ありがとうございます。委員会からの意見を踏まえまして、第6次行政改革大綱の策定を進めてまいります。

議長 最後に、三年間会長を務めさせていただきました。他の委員にもお世話になりました。ご協力ありがとうございました。今後も印西市の行政改革の推進を願っております。

進行 推進委員の皆さまありがとうございました。川邊会長、議事進行ありがとうございました。続きまして、次第4その他に移らせていただきます。委員の皆さまから何かございますか。無いようですので、それでは次に事務局よりご挨拶申し上げます。

課長 委員の皆さまにおかれましては、3年間ご協力いただきましてありがとうございました。行政改革は今後も必要な事項であり、継続して取り組んでいかなければならないものと考えます。皆さまからいただきましたこれまでの意見を踏まえ、行政改革に取り組んでまいりたいと思えます。今後も、何らかの機会がございましたら、行政へご協力をお願いいたします。

進行 それでは以上をもちまして行政改革推進委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

当日使用した資料

- ・会議次第
- ・第6次印西市行政改革大綱の策定に向けた基本的な考え方（案）

令和2年3月25日に行われた印西市行政改革推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

会議録署名委員 木村 誠

---

会議録署名委員 坂口 三郎

---